

広報かめだ

特集号

□発行 新潟県亀田町役場

□編集 企画課



(写真提供・亀田商工会議所)

 花開く甚句まつり

8月14日～16日
 諏訪神社境内

8月25日 町内流し

たのしい甚句まつりへ総参加を

越後亀田の稲葉の山であやめ咲くとはしおらしや。唄と踊りで名高い「亀田甚句」は、永禄元年（西暦1652年）亀田町が中蒲原郡横越島の中谷地と称したころ、農民が、豊作を祈願し祝う行事として毎年旧盆（8月）になると神社境内にやぐらをたてて、老若男女が盆踊りで毎夜踊りあかしたといわれています。

昭和38年11月17日、東京日大講堂における日本郷土民謡全国大会で、亀田甚句は晴れの日本一の栄冠を獲得することができました。

そして、毎年たやすことなく「亀田甚句」を保存し、郷土芸能の振興につとめてきましたが、4年前からは、町と商工会議所、公民館がタイアップして「甚句まつり」を企画し、町民総参加を目的に「ふるさとをよみがえそう」を相言葉に年々発展してきました。

花開く「甚句まつり」も、ことして4年目を迎え、亀田祭との関連する中で、新しい企画を生み、町民みんなによるこんでもらえる内容と計画を立てましたので、ふるってご参加ください。

亀田甚句まつり

日程と内容



◇八月十四日(主) 午後七時から十時三十分まで(諏訪神社境内)

・素踊り大会(団体は十名以上)

・参加者全員に参加賞を差上げます。

◇八月十五日(日) 午後七時から十時三十分まで(諏訪神社境内)

・仮装大会(個人、団体賞)

・参加者全員に参加賞を差上げます。

※仮装の団体は五人以上でなければ対象になりません。

◇八月十六日(月) 午後七時から十時まで(諏訪神社境内)

・榕たたきコンクール(二人一組)

・参加者全員に参加賞を差上げます。

※午後十時終了後、三日間の受賞された方々の表彰式をまとめて行います。

◇八月二十五日(水)

・鼓笛隊によるパレード
午後七時三十分～八時

・亀田甚句町内流し(本町通り)

午後八時～九時

・岩万燈宮上り

午後九時～十時三十分

懸賞大会の賞品と内容

▽八月十四日：素踊り大会(団体のみ)

・優勝 賞金一万円と賞状(二組)

・準優勝 賞金七千円と賞状(二組)

・努力賞 賞金五千円と賞状(二組)

・敢斗賞 賞金二千円(五組)

※優勝チームには持ち回りカップ贈呈

▽八月十五日：仮装大会(団体・個人)

・アイデア賞 賞金一万円

円と賞状(二組)

・ユーモア賞 賞金七千円と賞状(二組)

・努力賞 賞金三千円と賞状(五組)

※以上は団体(五人以上)の懸賞です。

(個人)

・アイデア賞 賞金三千円と賞状(二組)

・ユーモア賞 賞金二千円

亀田甚句まつり・岩万燈写真コンテスト

写真コンテスト

「亀田甚句まつり」、「岩万燈」は夏の風物詩として盛大になってきております。ことしも魅力あふれるまつり行事を、みなさんお持ちのカメラで気軽にパチパチと「まつりを写そう」写真コンテストを行います。

◇応募規定は次のとおりです。

- ①題材：亀田甚句まつりと岩万燈に関連した作品
- ②使用材料：カラーに限りません。

と賞状(二組)

・努力賞 賞金二千円と賞状(五組)

▽八月十六日：榕たたきコンクール(二人一組)

・優勝 賞金五千円と賞状(二組)

・準優勝 賞金三千円と賞状(二組)

・努力賞 賞金二千円(八組)

▽八月二十五日：甚句町内流し

・団体で申込みされるチームは八月二十日まで、公民館へ規定の用紙に記載して申込んでください。

※用紙は公民館にあります。なお、団体参加者には手拭を無料で差上げます。

③サイズ：カビネ版

④締切：昭和五十一年九月十六日

⑤送り先：亀田町公民館または亀田商工会議所

⑥作品の裏面に指定の事項を記入した応募票を貼ってください。

賞

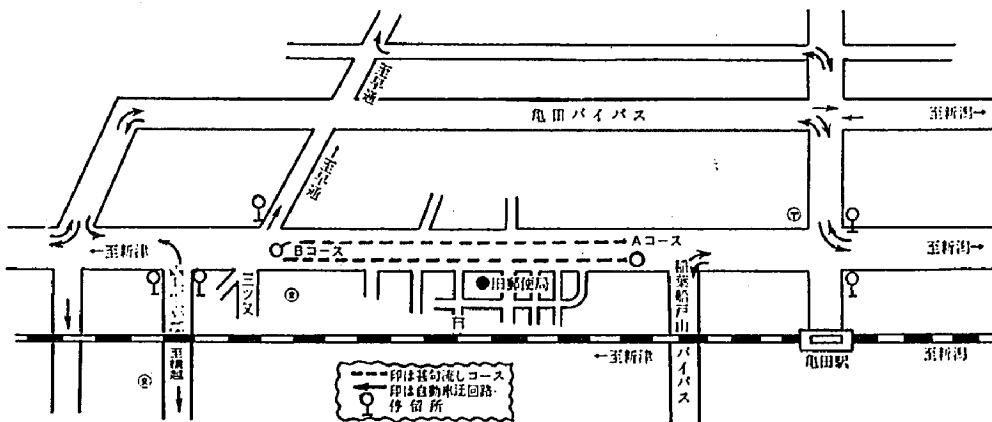
推せん一名 表彰状と賞品及び副賞(一万円相当)

特選二名(五千円相当)

入選二〇名(二千円相当) 努力賞 五〇名

「亀田甚句町内流し」自動車迂回路

- 日時：8月25日 午前7時～10時30分(交通制限)
- 区間：下町バス停前～三ツ又までの約一、五〇〇m



※八月二十六日も岩万燈流しのため交通規制になりますので、ご注意ください。

(亀田木造り岩万燈保存会)

昨年、受賞されたカップ、トロフィを至急公民館へお返しください。